

第4章 プランの基本的な考え方

- 1 基本理念
- 2 重点プロジェクト
- 3 プランの体系図

1 基本理念

「食で 育む元気な はだの」

私たちが健康で生き生きと暮らし、人とのコミュニケーションを大切にしたい思いやりや活力に満ちた「水とみどりに生まれ 誰もが輝く 暮らしよい都市（まち）」を目指すためには、市民一人ひとりが日常の生活の中で、様々な経験を通じて食に関する知識や食を選択する力を養い、本市の食文化や丹沢の自然と調和し、自分らしい活力ある暮らしを実現できることが大切です。

市や関係機関が支援を行い、市民一人ひとりの取組から食育の輪を広げ、生き生きとした暮らしにつなげるためには、長期的な視点で食育に取り組む必要があります。今までの取組を生かしながらさらなる推進を図るため、第2次プランの基本理念や3つの視点による基本目標を継承しながら食育を推進します。

2 重点プロジェクト

本市における食の現状と課題を踏まえ、さらに食育を推進していくために、重点プロジェクトに取り組めます。

子どもからその親世代への食育の推進（朝食の普及啓発）

生涯を通じて健やかな生活を送るためには、子どもの頃から食の大切さについて認識し、自分の食生活を組み立てる力を身に付けることが重要です。

特に朝食は、健康で豊かな生活を送る上で重要な役割を担っており「からだ」の健康のみならず、豊かな「こころ」や「くらし」の基盤にもなります。また、子どもが朝食を食べる習慣は、親に朝食を食べる習慣があることと高い関連性が認められています。

そこで、乳幼児期、学童期、思春期の子どもを中心とした若い世代とその親世代（20歳代～40歳代）へ、食育キャラクター等を活用した食育を推進し、さらに食生活や食習慣に関心を持ち、望ましい食習慣を維持できるよう支援します。

3 プランの体系図

